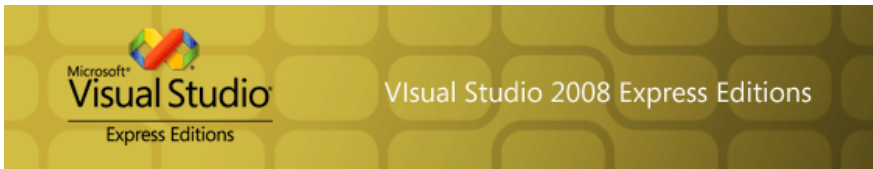


**Visual Studio を知る**

- 製品概要
- エディション間の機能比較
- 最適な開発環境の構築 (MSDN Subscription とは)

**Visual Studio を買う**

- 評価版
- お得な買い方
- 参考価格
- ライセンス情報
- オンライン販売
- 販売パートナー



## はじめての方のための Visual C++ 2008 Express Edition インストール方法紹介

### (例) Visual C++ 2008 Express Edition をインストールする場合

1. トップページにある「Web インストール (ダウンロード)」をクリックします。



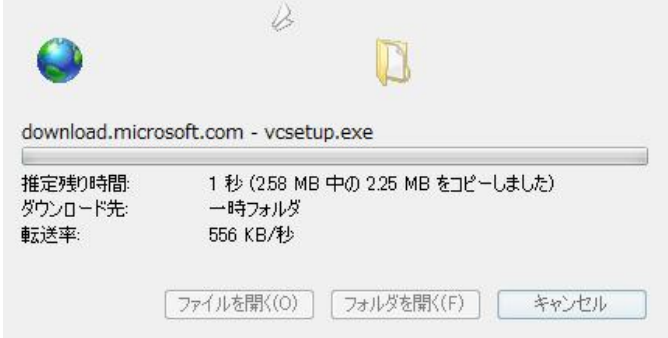
Visual C++ はよりパワフルで柔軟な開発環境を提供し、Windows ネイティブなアプリケーションやおよび 3D の 2D ゲーム開発を支援します。Win32 API を完全活用したアプリケーションを作成できる Windows Platform SDK も同梱されています。

Visual Basic や Visual C# を Web アプリケーションの開発や、のの開発を、簡単に楽しく行えます。アプリケーションの作成を始めるの含まれています。

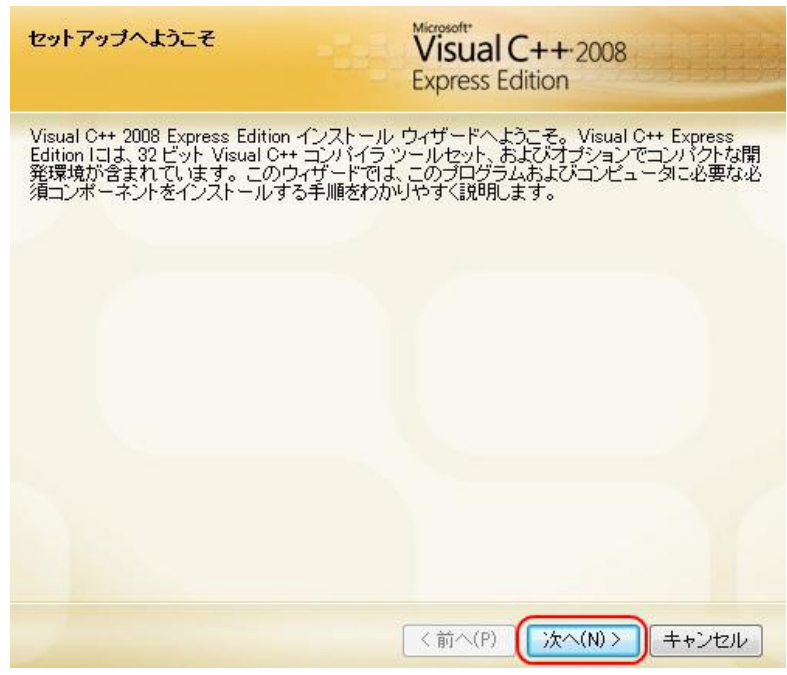
[Web インストール \(ダウンロード\)](#) [Web イン](#)



SQL Server Express は Windows アプリケーション、Popfly は、マッシュアップやガジェットダウンロードが開始され、終了次第インストールの準備が始まります。



2. 最初の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

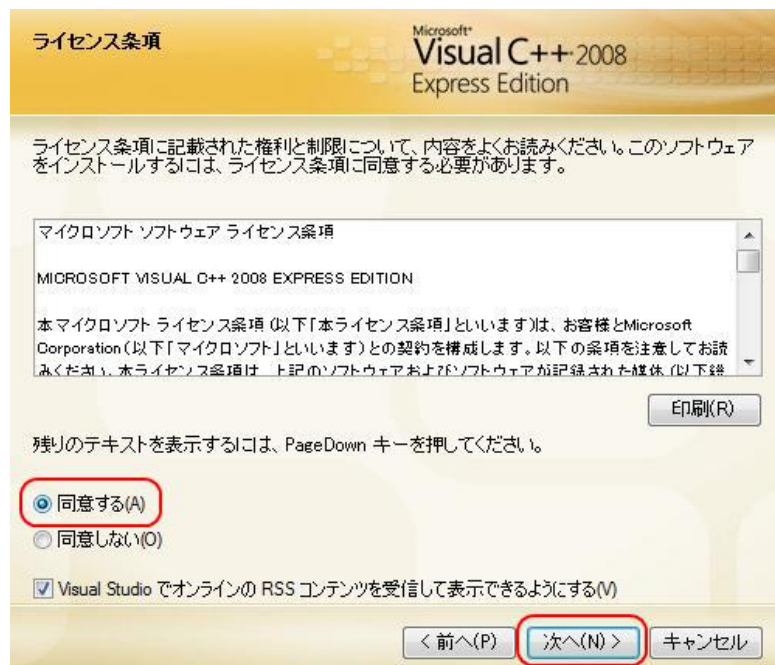


3. マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項をお読みいただき、同意いただけた場合は「同意

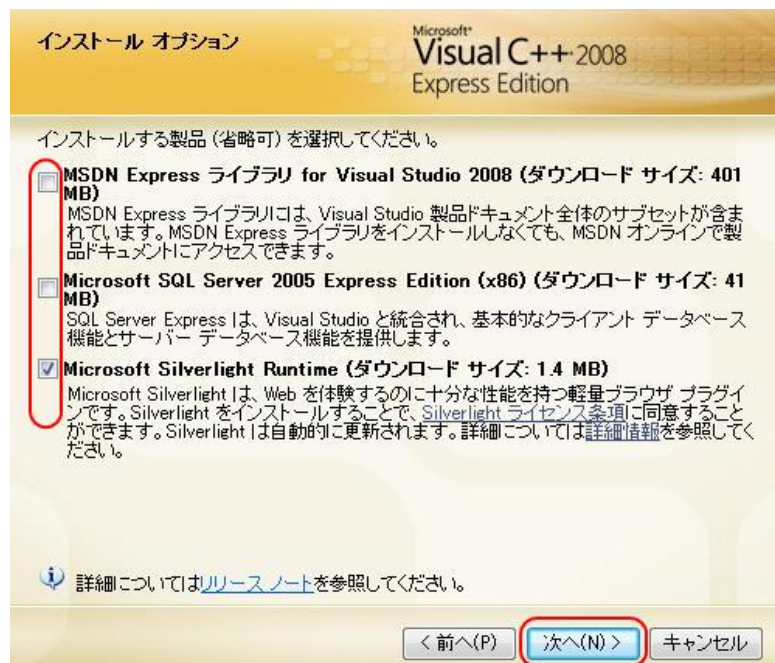
Microsoft Visual Studio 2010

**Visual Studio 2010**  
日本語 評価版

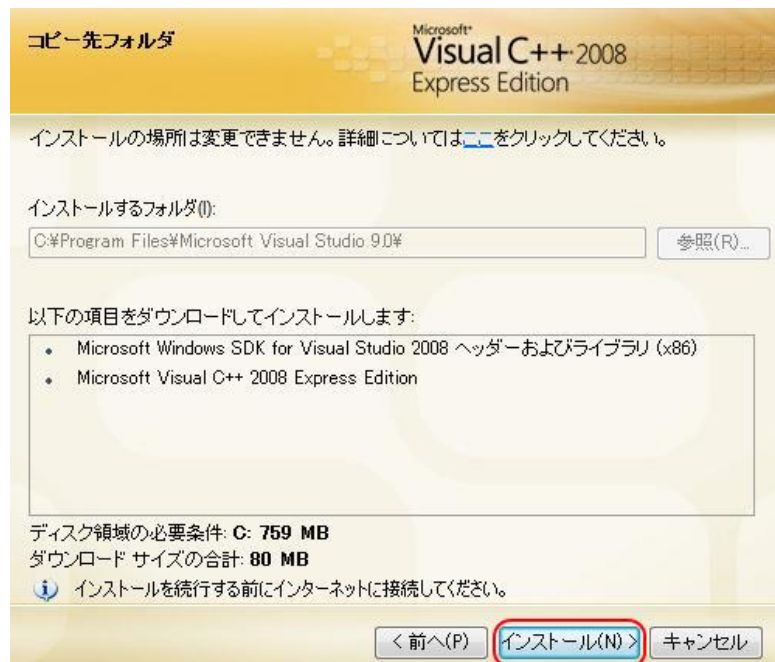
無償ダウンロード  
提供中 >>



4. 追加でインストールするオプションを選んでください。(省略可)



5. インストールされる製品の一覧が表示されるので、「インストール」 ボタンをクリックします。



6. Web インストールが開始されます。ダウンロードとインストールが終わるまでしばらくお待ちく

ださい。

なお、.NET Framework 3.5 を未インストールの場合は、.NET Framework 3.5 のインストールに少々時間がかかります。



7. インストールが終わるとこのような画面が出ますので、「終了」 ボタンを押して終了します。登録のメリットを得たい場合は、アンダーバーのある文字をクリックしてください。ブラウザが開き、ユーザー登録画面へと移動します。



- 8.
9. Windows オペレーティング システムのスタート メニューから「プログラム」を選んでいただくと、「Visual C++ 2008 Express Edition」が追加されていることをご確認いただけます。これをクリックしていただくことで、すぐにプログラミングを楽しんでいただけます。はじめて .NET Framework 3.5 をインストールした場合は、ご利用の前に必ず再起動をしてください。



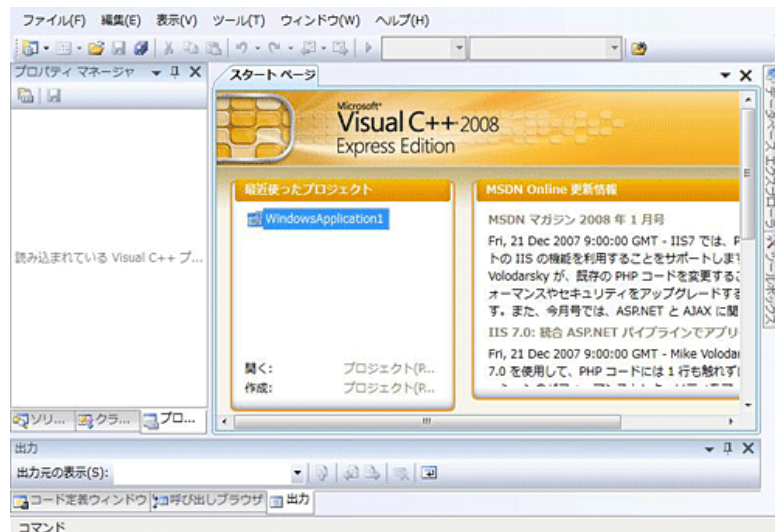
[トップページに戻る](#)

## 時計を作ってみましょう

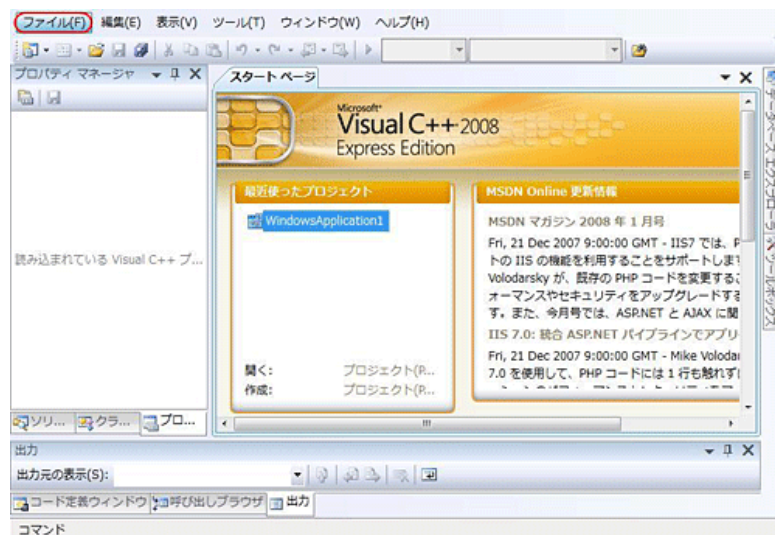
1. Visual C++ 2008 Express Edition を起動します。起動するとこのような画面が表示されます。



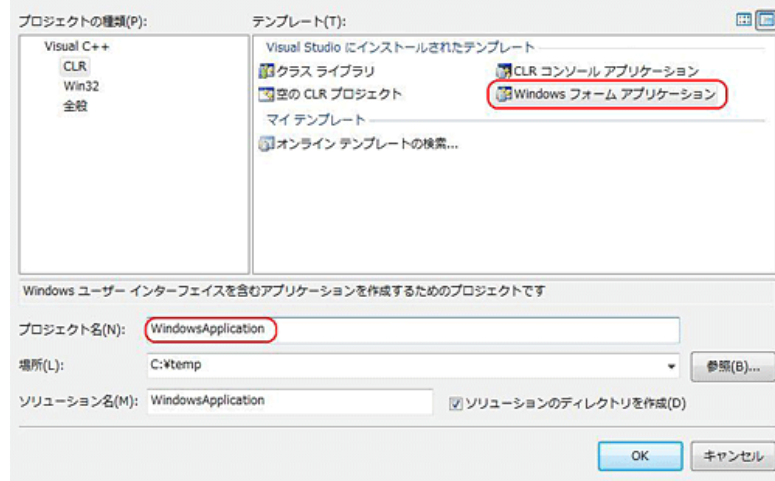
2. 最初に表示される画面はこのような画面です。



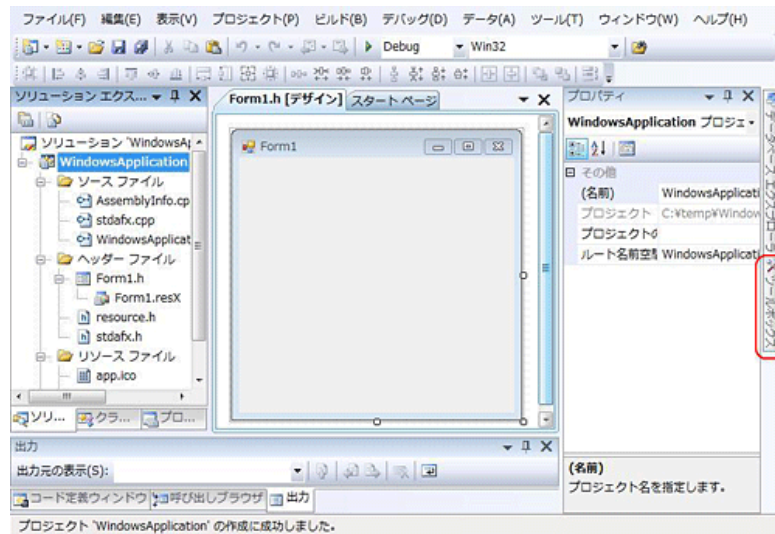
3. 左上の「ファイル」から「新しいプロジェクト」を選びます。



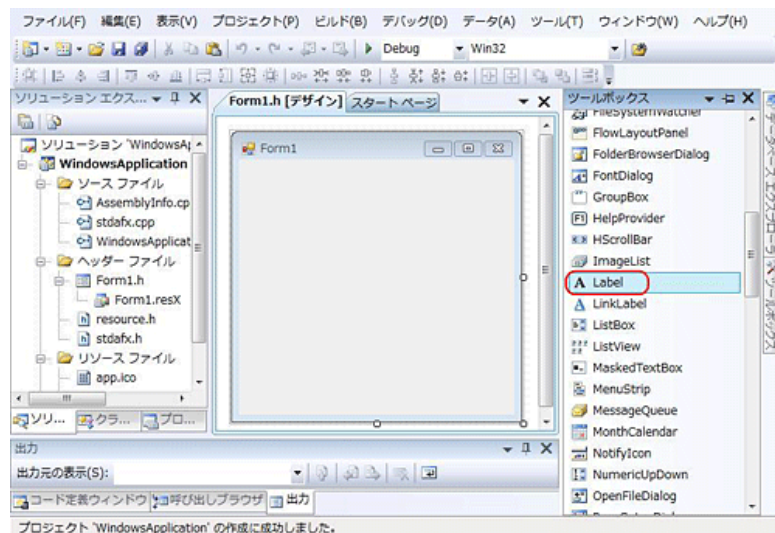
4. プロジェクトを選択するダイアログが表示されますので、「Windows フォームアプリケーション」を選んで、プロジェクトの名前を付けます。今回は "WindowsApplication" としました。名前をつけたら「OK」ボタンをクリックします。



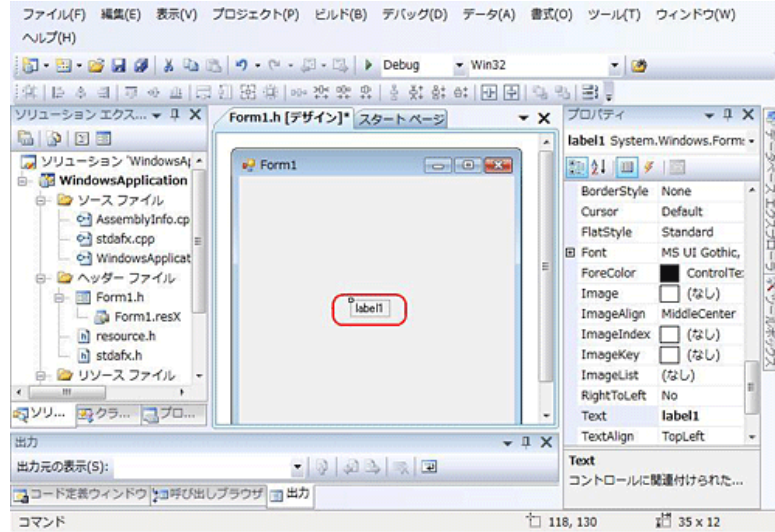
5. 新しい Windows フォームアプリケーションの基礎が作られます。ここから画面右のツールボックスを使って、時計を組み立てていきます。ツールボックスの中身が見えない場合は、ツールボックスというタブにマウスを乗せてください。



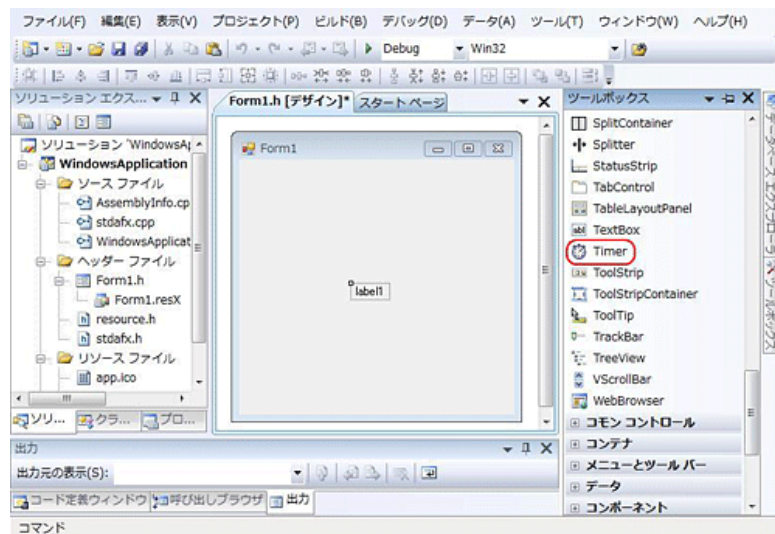
6. まず、「Label」というツールをツールバーから探します。  
Label とは、ウィンドウ上に文字を表示させるための領域です。



7. 左のツールバーから Label をドラッグして、中央のウィンドウの部分にドロップします。すると、label1 という表示がされます。  
この label1 に時間を表示させてみましょう。

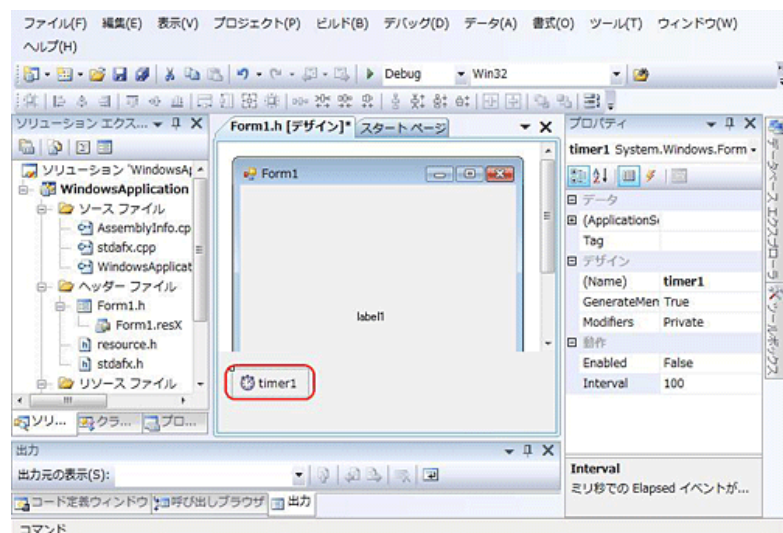


8. ツールバーから Timer というツールを探します。



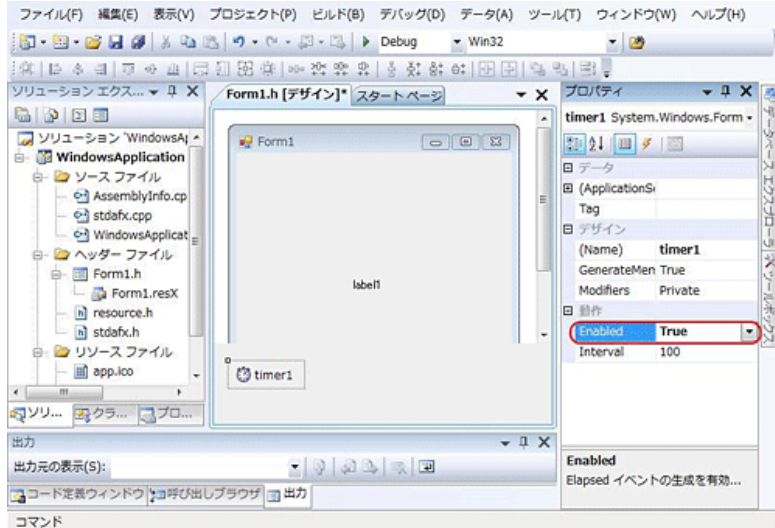
9. 同じようにウィンドウの部分にドラッグ & ドロップすると、下の画面のように Timer コントロールが追加されます。

Label と違って、ウィンドウの画面部分には追加されません。なぜなら、Timer は表示機能を持たず、アプリケーションの内部で動くからです。



では、どうすれば時間を表示するようにすればいいのでしょうか？

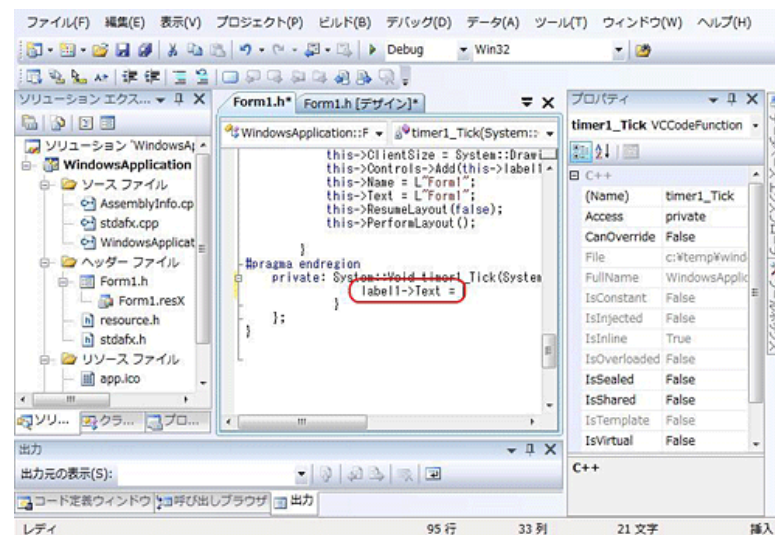
時間を表示させるには、表示の機能を持っているものと結び合わせます。それが Label です。Label と Timer を結びつけてみましょう。



その前に、きちんと Timer を作動させるには、右下のプロパティ ウィンドウにある「Enabled」の隣の「False」をクリックして「True」に変更しておきましょう。こうすることで、Timer がきちんと動作します。

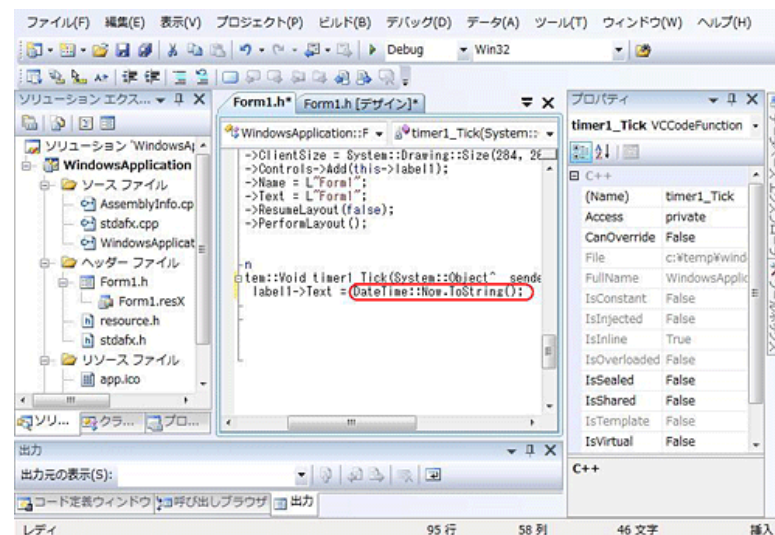
- Timer のアイコンをダブルクリックすると、コード画面が出てきます。所定の場所に

`label1->Text =`  
と書きこみます。  
ここで label1 にテキストを代入しようとしています。

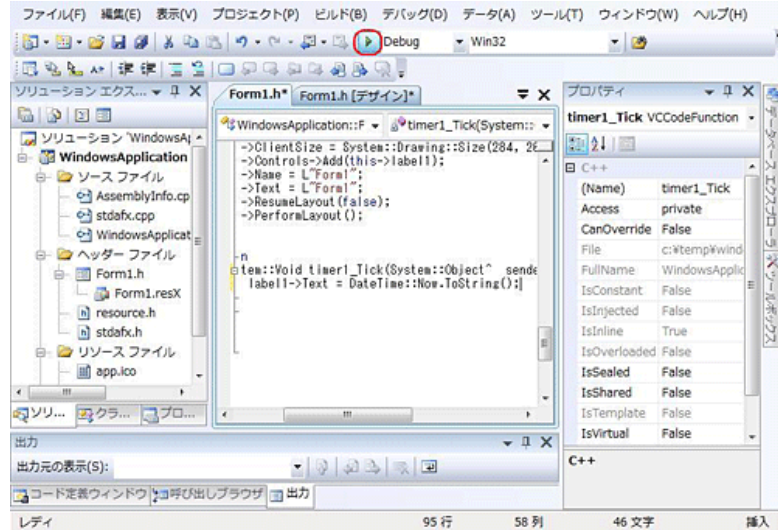


- そして次に、= の隣に、

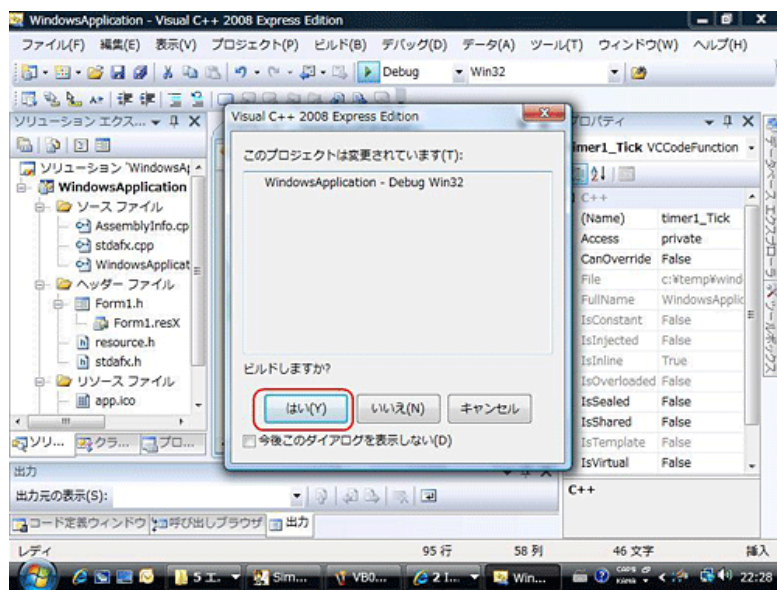
`DateTime::Now.ToString();`  
と書きます。  
この処理は、現在時刻を表示します。



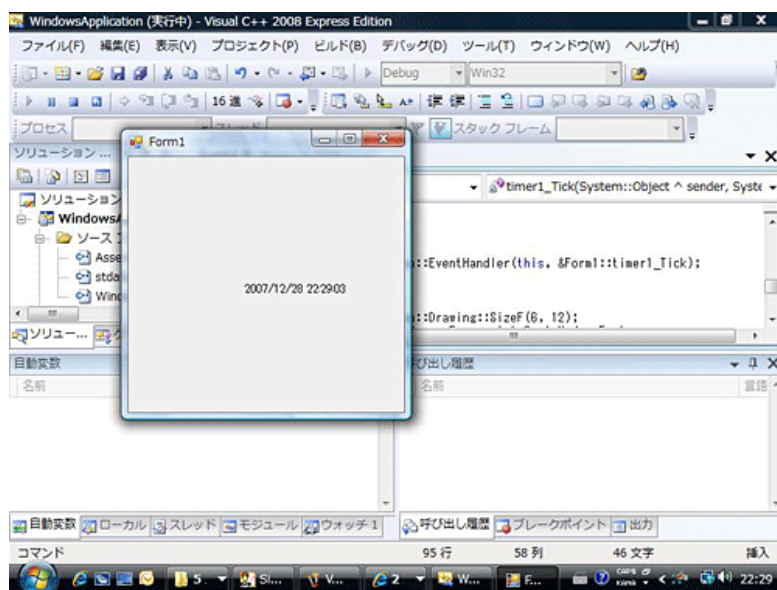
- そして Visual C++ 2008 Express Edition の上の画面にある再生ボタン、もしくはメニューより、「デバッグ」 - 「デバッグ開始」を選択します。  
こうすることで、作ったプログラムを実際に行わせることができます。



Visual C++ 2008 Express Edition の場合、ここでダイアログが出てきます。「はい」を選んでください。



- 新しいウィンドウが立ち上がり、このように、時計が完成しました。実行中はソースコードを編集することはできません。もう一度編集するときは、時計のウィンドウを閉じてください。



簡単な時計のプログラムを解説しました。ぜひこのプログラムを編集して、さらに様々な処理を追加してみてください。

(注) 製品登録は、メニューの [ヘルプ] から行っていただけます。





▲ Top of Page